



この人!

連合愛知 海上の森への想い 連合愛知 松宮 勝彦さん

△:連合愛知のご紹介をお願いします。

松:連合愛知は、県内で働く労働者 50 万人が集う労働組合で、43 の産業別組織と 12 の地域協議会から構成されています。「組合が変わる。社会を変える 格差拡大・二極化を是正して、安心・公正社会を」をスローガンに活動している団体です。

△:海上の森で森づくりボランティアをされていますが、そのきっかけは?

松:愛・地球博に「かけがえのない地球を子どもたちに残すために」世界で初めて“労働組合”として参加しました。愛知県労働者福祉協議会と共に万博センターを立ち上げ、ボランティア事業の一環として愛知県と連携し、愛知万博の原点である海上の森での森づくりボランティア「愛・地球博記念の森づくり」を始めました。今年で5年目になります。

△:活動内容を教えてください。

松:万博センターのボランティア事業で、各種ボラ

ンティアを指導できるリーダーの育成を行い、このリーダーの指導の下、森づくりボランティアを実施しています。海上の里近隣のスギの間伐に始まり、竹の伐採も行ってきました。毎年3回程度、冬の時期に実施しています。今年度より、あいち海上の森センターの「企業連携事業」として登録し、協議しながら森林整備を進めています。今年度に関しては、間伐を行う前段階の除伐作業から始めています。

△:海上の森への想いをお聞かせください。

松:人類の共通の課題である21世紀の地球環境を守るというメッセージを世界に発した「愛・地球博」の取組みを継承していくために、足元の原点である海上の森の森づくりに取り組んでいくことが大切であると思い、継続して取り組んでいます。

プロフィール 連合愛知の構成組織から派遣されており、国民運動局を担当。ボランティア活動のほかに、助け合い運動、クラシックコンサート等の企画を担当している。



センター職員の随想リレー

かたりべのひと言、

あいさつ

町では見知らぬ者同士が道で出会ってあいさつを交わすことはありませんが、海上の森では道で出会うとあいさつをします。見知らぬ者同士が「おはよう」「こんにちは」と声を掛け合うのは森ではごくあたりまえのことです。そしてこの素晴らしい習慣は森だけでなく山口地区でも行われています。私は愛環の山口駅から歩いて通っていますが、途中で出会う子どもたちが「おはようございます」とあいさつをしてくれます。最初は少し驚きましたが最近では尊敬の気持ちで子どもたちを見ています。私たちは森では豊かな自然の中で心が開かれ互いにあいさつ交わしますが、いったん町へ戻るとすぐに心を閉じよそよそしくなってしまう。知らない人に自分から声をかけるのはなかなかできることはありませんが、子どもたちを見習って、いつかは自分もできるようにと思っています。(H.I.)

森のなかま

スズカカンアオイ(ウマノスズクサ科)

森の木陰に生える常緑の多年草で、“春の妖精”と呼ばれるギフチョウ



ウの幼虫が食べる植物として



有名です。森の中を歩いていると

ハート型をした葉っぱが目につきます。花は秋から2月頃まで咲いています。花は地面スレスレのところ咲いており、普段は落ち葉に隠れて見えませんが、これは萼で花びらではないです。こんなところに咲いて、どうやって種を作るのか、不思議です。分布:本州の東海地方・近畿地方・北陸地方西部。